

News Release

平成 27 年 12 月 1 日
N I T E (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構

洗濯時における化学物質の暴露量推定のための 衣料用洗剤等に関する使用実態をまとめました

N I T E (ナイト) [独立行政法人 製品評価技術基盤機構 理事長 : 辰巳 敬、本所 : 東京都渋谷区西原] は、平成 27 年 12 月 1 日に、消費生活用製品に含まれる化学物質が体内に取り込まれることによるリスクの予測に用いる情報整備の一環として、家庭における衣料用洗剤等の使用頻度や使用量、手袋の着用等の使用実態の調査結果をまとめました。

製造事業者がこの調査結果を活用し、衣料用洗剤等に含まれる化学物質の洗濯時における暴露量を推定し、それに伴うリスクを予測した上で、製品設計への反映や、注意喚起表示を行うこと等で、より安全な製品づくりのために広く活用されることを期待します。

1. 製品に含まれる化学物質により、皮膚に触れた際に炎症等を引き起こしたり、蒸発、飛散した化学物質を吸い込むことで気分を悪くしたりする場合があります。これらを未然に防ぐためには、製造事業者が、製品の使用実態を想定して化学物質が体内に取り込まれる量（暴露量）を予め推定し、それに伴うリスクを予測（評価）した上で、製品設計への反映や、注意喚起表示を行うこと等が重要です。
2. しかしながら、こうした製品の使用実態に関する調査で一般に公開されているものは限られていました。そこで、N I T E では、約 1, 800 人を対象に、家庭における衣料用洗剤、柔軟剤、漂白剤の使用実態及び、洗濯機や手洗いによる洗濯、乾燥（衣類乾燥機、部屋干し等）の実態についてアンケート調査を行いました（調査項目等は次ページ参照）。
3. その結果、手洗い洗濯時に洗剤を扱う際に 68% の人がゴム手袋等を着用していないこと、夏季であっても 74% の人は時々あるいはたまに部屋干しをしていること、部屋干しの場所はリビングダイニングが 49% であること、などが明らかになりました。結果は以下のウェブサイト公開されています。

N I T E 【室内暴露にかかわる生活・行動パターン情報】

http://www.nite.go.jp/chem/risk/expofactor_index.html

4. N I T E では、今回の調査の他にも「室内暴露にかかわる生活・行動パターン情報」として、①住居環境（面積、部屋別の滞在時間、換気等）、②消費者製品（塗料、殺虫剤、消臭・芳香剤等）、③家事行動（食器洗い、部屋掃除等）についての実態調査を行い、結果を同じウェブサイト公開しています。これらの調査結果が、より安全な製品づくりのために広く活用されることを期待します。

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター 所長 木井 保夫

担当：リスク評価課 片岡、^{こうざき}光崎

電話：03-3468-4096 FAX：03-3481-2900

◆今回公開した衣料用洗剤等に関する使用実態調査

- ・有効回答者数：1772人
- ・調査年度：平成26年度
- ・以下の項目について、それぞれ全体及び男女別に集計

【衣料用洗剤】

(1)洗剤、(2)柔軟剤、(3)漂白剤

- 衣料用洗剤、柔軟剤、漂白剤の使用(手洗い時及び洗濯機使用時)
- 使用する衣料用洗剤、柔軟剤、漂白剤の種類
- 衣料用洗剤、柔軟剤、漂白剤の使用量
- 洗濯する衣類別の洗剤の種類



【洗濯】

(1)洗濯一般

- 洗濯関係行動の実施の有無
- 洗濯関係行動の種類
- 洗剤使用時のゴム手袋等の使用

(2)手洗い

- 手洗いの実行
- 手洗いの所要時間
- 手洗いの実施頻度<夏の場合、冬の場合>
- 手洗い実施時のゴム手袋等使用割合
- 漂白剤使用時の換気状況

(3)洗濯機使用

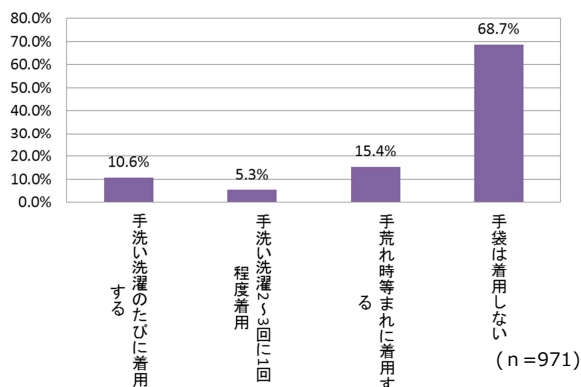
- 洗濯機の使用頻度<夏の場合、冬の場合>
- 洗濯機の種類
- 洗濯機の容量
- 洗濯機の容量に対する衣類の投入量
- 洗濯槽洗浄剤使用の有無

(4)乾燥

- 衣類乾燥機使用の有無
- 衣類乾燥機の使用頻度
- 衣類乾燥機の種類
- 衣類乾燥機の容量
- 衣類乾燥機の容量に対する衣類の投入量
- 浴室乾燥機の使用頻度
- 衣類を干す場所
- 部屋干しの頻度
- 部屋干しの理由
- 部屋干しの時間帯、期間
- 部屋干しの場所(部屋の種類)
- 部屋干し時の換気行動
- 部屋干し時に使用する器具や他製品の種類

◆調査結果の例

<手洗い洗濯時の手袋の着用割合>



<部屋干しの頻度>

